

校長室通信



令和8年9月18日(金)

羽咋市立羽咋中学校

校長 杉谷 靖史

第9号

2学期が始まり3週間が経ちました

毎日、生徒の姿を観ています。朝の登校の様子、挨拶の姿、授業の姿、掃除や部活動など。どの生徒も1学期と比べてみると、成長したことを実感します。これはとても嬉しいことです。

生徒のみんなはどう感じているのでしょうか。成長を実感していますか？この3週間を振り返って自分を見つめてみてください。また、先生や保護者、友達に自分は成長しているかどうか聞いてみてください。少なからず、よいところが伸びて、苦手なことに少しずつ向き合い、努力している姿が随所に現れているのではないのでしょうか。

15日(火)は石川県教育委員会、羽咋市教育委員会の学校訪問がありました。日頃の学校の姿を見ていただきました。生徒の姿、教師の姿、学校の姿から今の羽咋中をさらにレベルアップさせていく助言をしていただきました。我々教師は学び続けます。より良い指導を日々研鑽し、生徒に示していきます。学力、人間性の向上に向け、邁進します。

明日からのシルバーウィーク(9月19日(土)～23日(水)の5連休)で2学期のスタートダッシュで頑張った自分を癒すために少しリフレッシュしましょう。24日(木)に元気よく登校してくださいね。待っています。



学び続ける生徒と学び続ける教師が一つになって、羽咋中の伝統を重ねていく

<日頃の授業の姿から>

【上段左2枚】3年国語科の授業の姿。個で学びを深めたり、ペアで確認したりしている様子。

【上段中央右】1年理科の授業の姿。ノートに自分の考えを書いている様子。

【上段右】3年社会科の授業の様子。自由権について自分の考えを説明している様子。

【下段左】2年理科の授業の姿。実験を班員で協力して行っている様子。

【下段右】1年技術・家庭科(技術)端末の動画から木工作業を学んでいる様子。

後期生徒会執行部、専門委員長、学級役員 任命式を終えて

9月14日(月)に任命式を行いました。前期の皆さんの頑張りを見た上で、新たな決意をもって羽咋中学校の生徒を引っ張ってってくれるものと信じています。

人の前に立つことはとても勇気のいることです。それでも、自信をもってそれぞれの役割をやり遂げてください。役員等を託した生徒の皆さんは、全力で協力し、気持ちのよい羽咋中学校生活を送っていきましょう。

まずは学習面での学びの姿に。そして、大きな行事「羽中祭」の成功のために。みんなで高め合っていきましょう。



栄光の記録 ～都市新人大会を終えて～

9月5日(土)から13日(日)にかけて行われた都市新人大会は、新チームとして初めての公式戦でした。

9月4日(金)の激励会では次のことを伝えました。

- ・勝ち負けよりも自分たちの立ち位置(現在地)を知ること。
- ・新チームとして取り組んできたことがどこまで通じるかを知ること。
- ・今何ができて何ができないのか、足りないのかを知ること。

短期間での成果を求めることも大事ですが、今の成果と課題を知り、次の全能登新人大会を経て、最終的には来年度の県体予選にピークをもっていき、良いパフォーマンスを発揮できるように練習を積み上げることが重要となります。

仲間を信じ、顧問、コーチを信じて戦ったことは、どんな結果であれ必ず次につながります。

応援してくださった保護者の皆様に、地域の方々に感謝を伝え、これからも部活動・地域クラブ活動に励んでください。

9月5日～13日	【羽咋郡市中学校新人総合競技大会】
剣道部	<男子>団体2位 中村将人 川島久弥 針原悠輔 森田樹生 藤田敦成 西椋之介 南 琉仁 個人2年の部 1位 藤田敦成 2位 針原悠輔 3位 中村将人 <女子>個人1年の部 1位 塩木結愛 3位 中林来愛 個人2年の部 1位 日下 愛
弓道部	<男子>団体2位 羽咋B 中橋拳志 中西奏翔 勝井悠翔 個人2位 中橋拳志 3位 中西奏翔 <女子>団体1位 羽咋A 松井さつき 高田華央 塩谷果南 個人1位 松井さつき
卓球部	<男子>個人1位 栢谷 龍 2位 松永朱生
ソフトテニス部	<男子>個人1位 松岡晴人・丸田宗介 2位 見附航太郎・高澤壮真 <女子>個人1位 松永 直・立中暖乃
女子バレーボール部	1位 渡辺柑凼 松田結衣 石野緒実 寺西琉杏 河崎永愛 橋本咲希 東 雅姫 稲村心夏 脇本風香 山本結以 磯見花奈 前田依菜 本吉 雅 三原仁菜 谷口芽生
9月5日	【外部団体の結果】
VEIL ROUGEⅢ	RUNUP JAPAN ALL AGES DANCE CONTEST 2026 HOKURIKU SEPTEMBER ～北陸予選3回戦～ UNDER15 部門 準優勝 野口陽菜乃

学力調査の結果について

今年4月に実施された全国(国・数・英)及び県(社・英)の学力調査の結果が示されました。本校においては、全ての教科において県平均を上回る概ね良好な結果となりました。昨年度の理科に続き、今年度は英語のCBT(コンピュータによる試験方式)による調査が行われました。教科によってバラつきはあるものの、社会、理科については県平均+1.1～+3.4、国語、数学については+5.0～+6.0、英語については、IRT値(問題の難易度に左右されず、本当の英語力を正確に測る「共通のものさし」であり、全国平均が500になるように作成されるもの)では県平均を+57.0という結果になりました。一方、昨年同様、どの教科にも語彙や用語などの基本的な知識・技能の定着が十分でないこと、自分の考えを説明する際に、必要な情報や条件を踏まえて適切に表現することに課題が見られました。各教科の調査結果を分析したことをもとに、生徒の十分でないところに目を向けながら、教科指導を中心に、生徒たちの真の実力を付けるため粘り強く指導をしていきます。

編集後記

俯瞰してものを観ることはとても重要なことであります。他と比べるのではなく、その善し悪しについて自分自身どう捉えるべきか。▼期待の裏には叱咤激励がつきものです。自身を高めるための叱咤激励と感じられるよう我々教師は傾聴と対話を繰り返し、生徒に寄り添いアシストします。(杉谷)